



FD講演会

「研究者倫理を考える」

今年、iPS細胞を開発した京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学・生理学賞を受賞したニュースに国内が沸き立ちましたが、ほぼ同時に別の研究者によるiPS細胞の臨床研究をめぐる不正が発覚したニュースが飛び交ったことも、記憶に新しいところです。

論文の盗用やデータの捏造等は、いうまでもなく研究者の倫理に関わる重大な問題ですが、ネットを通じて簡単に情報が入手できるようになった現在、こうしたことは私たちの身近で起こり得る問題として横たわっています。今回のファカルティーディベロップメント(FD)講演会では、**研究者倫理の問題に詳しい専門家をお招きし、主として論文発表に関わる研究者倫理について考えたい**と思います。**大学教員のみならず、大学院生、学生の皆さん**も多数ご参加ください。

日時 2012年12月21日(金)午後1時～2時30分

場所 岩手連大各構成大学多地点遠隔講義システム設置室

岩手大学: 連合農学研究科棟2階

弘前大学: 農学生命科学部3階SCS室

山形大学: 農学部3号館3階302講義室

帯広畜産大学: 総合研究棟 I 号館2階(E2503)会議室



講演者 山崎茂明 氏(愛知淑徳大学教授)

演題 「研究者倫理を考える－論文発表を中心に」

講演者プロフィール:

1947年東京生まれ。早稲田大学第一文学部(社会学)卒業、慶應義塾大学大学院図書館・情報学専攻博士課程満期退学。図書館情報学博士(愛知淑徳大学)。現在、愛知淑徳大学人間情報学部教授。専門は、科学情報メディア論と科学コミュニケーション。著書:『医学文献サーチガイド』(日本医書出版協会、1993年)。『生命科学論文投稿ガイド』(中外医学社、1996年)。『研究評価』(共編著、丸善、2001年)。『科学者の不正行為』(丸善、2002年)。『論文投稿のインフォマティクス』(中外医学社、2003年)。『パブリッシュ・オア・ペリッシュ』(みすず書房、2007年)他。翻訳:『ORI研究倫理入門』(丸善、2005年)他。論文: Ranking Japan's life science research (Nature 1994)他多数。

主催 岩手大学大学院(博士課程)連合農学研究科・岩手大学大学院農学研究科



問い合わせ先: 岩手大学大学院連合農学研究科事務室

TEL:019-621-6247 E-mail:rendai@iwate-u.ac.jp

